

兄ちゃんがリード！ 兄弟姉妹と社員さんが一体となって活躍

株式会社 明精工業



代表取締役社長 下條満久氏
柏崎市大字与三 59-1
Tel.22-7007 Fax.22-7023

専門学校時代に市内製造工場でマシニングセンターのいわゆる「脱着」要員としてアルバイトをする機会があった。

社会人のスタートも市内の企業で三年ほど切削加工の現場経験をさせてもらい、その後明精工業に入るコトとなる。

友達を通じて知り合った奥さまと結婚され二男一女を授かった。中一・小五・年小さんと……子育てで真ん中……部活やクラブの大会・遠征での送迎は仕事のある奥さまと二人で役割分担をしてやりくりをされている。

趣味は？「仕事」みたい……ほとんど会社にいるんだけど『ゴルフ』をちよつぱり……徐々に上手くなる感覚を今は愉しめている」

ターニングポイントは？「小学生の頃からボール盤につかまっていた……きつとその時点で既に方向性は定まっていたような気がする。父の作業着姿もすごく記憶に残っていて二代目として同じ未来を見ていたと思う」

会社の強みは？「新規取引先とご縁がつながる場合、既存の取引先からの『紹介』がキッカケとなるケー

スが多い。ホームページは開設していないけど『柏崎ものづくりガイドブック』をみてもらつての問合せもあるかな？製缶加工から切削加工・研削加工までを一貫して内製できる点が一番の強みと捉えている」

このような『信頼関係』は数字としては目に見えないが……多くの企業にとつて最大の付加価値だと改めて認識させてもらつた。

将来は？「仕事がある限り取引先に合わせた設備に更新しつつ、困り事を解決できる営業を強化して成長していきたい」

満久氏自身は四人兄弟姉妹の長男で弟さんが現場の部門長を務める。また妹さん二人も子育てしながら経理を中心に会社を支えている。父で会長の文明氏とお母さんが苦勞して発展させてきた。社員さんも含めて『会社』家族だからこそその『一体感』を強く感じる取材となった。

(十人衆) (笑) (奈) (取材)

役立っているのは……」
どんな子ども時代？の問いに「ファミコンに夢中だった！友達より買ってもらうのが遅かったせいかな？すごくハマってしまった」
部活は？「中学はソフトテニス部で県大会に進めたが高校では続かなかった」二輪免許取得後「高校のバイク仲間が集って自宅がたまり場みたいな感じになっていた」

